

問1 かつて大阪・徳島間の移動はフェリーの利用を含め約650分を要していましたが、交通網の整備により約350分へと大幅に短縮されました。この変化が四国地方の農水産物の出荷に与えた影響について、最も適切な説明はどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 本州四国連絡橋の開通によって輸送時間が短縮されたことで、物流が効率化し、鮮度が重視される農水産物の出荷量が増加した。
2. 鉄道網の整備によって大量輸送が可能になったことで、フェリーによる輸送が完全に廃止され、輸送コストが大幅に上昇した。
3. 高速道路の整備によって四国内の移動は円滑になったが、本州側への輸送距離が長くなったため、大阪市場への出荷量は減少した。
4. 瀬戸大橋の開通により岡山県を経由するルートが主流となったため、徳島県産の農水産物は四国内での消費が中心となった。

問2 2021年の統計において、みかんの収穫量が全国第2位（約12.78万t）であり、四国地方に位置する愛媛県の県庁所在地として正しい名称を選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 高松市
2. 高知市
3. 松山市
4. 徳島市

問3 ある県の農業産出額の内訳をみると、総額約4409億円のうち、野菜が約1611億円と最も大きな割合を占めており、次いで畜産が約1340億円となっています。一方で果実は約111億円にとどまっています。この統計が示す高知県の農業的特徴について、正しい説明はどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている
2. 高冷地の冷涼な気候を活かしてレタスなどの収穫時期を遅らせることで、野菜の産出額を高めている
3. 大都市に近い立地を活かしてコマツナなどの鮮度が重要な野菜を生産し、産出額を高めている
4. 広大な平野を利用した大規模な機械化により、米を主産物として野菜と組み合わせている

問4 愛媛県において、米や野菜など他の農産物に比べて、みかんなどのかんきつ類を含む「果実」の生産が非常に盛んである理由として、地理的な環境の観点から最も適切な説明はどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。
2. 広大な平野を活用し、大規模な機械を導入することで効率的な生産が可能になったため。
3. 年間を通じて降水量が非常に多く、常に大量の水を必要とする果実の栽培に適しているため。
4. 冷涼な気候を活かして、他の地域では栽培が難しい高冷地野菜を生産しているため。

問5 ある工業地域の統計において、製造品出荷額のうち鉄鋼業が約336億円であるのに対し、造船業が約2323億円と非常に高い割合を占めている地域があります。このような産業構造が形成された地理的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 複雑な海岸線をもつリアス海岸が広がり、波が穏やかな天然の良港を活かして大型船の建造が行いやすいため
2. 広大な平野部を利用して大規模な製鉄所を建設し、近隣の自動車工場へ鋼材を供給する体制が確立されているため
3. 内陸部の豊かな水資源と広大な土地を活かして、海外から輸入した原材料を加工する基礎素材産業が特化しているため
4. 寒冷な気候による結氷を防ぐため、一年を通じて温暖な気候を利用した精密機械の組み立て工場が密集しているため

問6 高知県の人口構成における特徴と、その背景にある社会的な動きについて述べたものとして最も適切な説明はどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 若年層の流入が多いため、人口ピラミッドは底が広がる「富士山型」の形状を保っている。
2. 愛知県や大阪府などの都市部と比較して、老年人口の割合が高く、深刻な高齢化の状況にある。
3. 第2次産業が極めて盛んであるため、15歳から64歳までの生産年齢人口が全国平均を大きく上回っている。
4. 少子化のスピードが緩やかであるため、若年層と老年人口の割合がほぼ均衡している。

問7 中国地方を東西に貫く中国山地は、地域の気候や人々の生活に大きな影響を与えています。冬に北西から吹き付ける季節風の影響を直接受け、曇りや雪の日が多くなる日本海側の地域の名称を答えなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 山陰
2. 山陽
3. 南四国
4. 北九州

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 本州四国連絡橋の開通によって輸送時間が短縮されたことで、物流が効率化し、鮮度が重視される農水産物の出荷量が増加した。	本州と四国を陸路で結ぶ「本州四国連絡橋」が整備されたことで、それまでのフェリー利用に比べて移動時間が劇的に短縮されました。この交通網の変革は、特に鮮度が求められる真鯛などの水産物や野菜の輸送に大きな利点をもたらしました。輸送のスピードアップと効率化が実現した結果、徳島県などの四国地方から大阪といった大消費地への出荷が容易になり、市場での取り扱い量が増大する要因となりました。
問2	<b>答え 3</b> 松山市	愛媛県はみかんの栽培が非常に盛んな地域として知られており、2021年の統計では全国1位の和歌山県に次ぐ第2位の収穫量を記録しています。四国地方の各県の県庁所在地は、香川県が高松市、高知県が高知市、徳島県が徳島市、そして愛媛県が松山市です。愛媛県の松山市は、瀬戸内海に面した気候を活かした果樹栽培が特徴です。
問3	<b>答え 1</b> 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている	高知県の農業は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を最大限に活用している点が最大の特徴です。統計データにおいて、果実よりも野菜の産出額が圧倒的に多いのは、ピーマンやなすなどの促成栽培が極めて盛んであるためです。同じ四国地方でも、愛媛県などは果実（かんきつ類）の割合が高くなるため、統計上の違いに注意が必要です。
問4	<b>答え 1</b> 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。	愛媛県では瀬戸内海沿岸を中心に山地が海に迫っており、その急斜面を「段々畑」として利用しています。傾斜地は平地に比べて日当たりが良く、さらに水はけも良好であるため、甘くて質の良いかんきつ類の栽培に最適な環境となっています。
問5	<b>答え 1</b> 複雑な海岸線をもつリアス海岸が広がり、波が穏やかな天然の良港を活かして大型船の建造が行いやすいため	瀬戸内工業地域に見られる特徴的な産業構造の背景には、その独特な地形があります。島々や岬に囲まれたリアス海岸は外海の影響を受けにくく、巨大な船舶を安定して組み立てるための「ドック」を建設するのに適しています。このため、鉄鋼などの他産業と比較しても、船舶の製造・修理といった造船業の比重が極めて高くなっています。
問6	<b>答え 2</b> 愛知県や大阪府などの都市部と比較して、老年人口の割合が高く、深刻な高齢化の状況にある。	日本の人口分布において、高知県などの地方では都市部への人口流出（社会減）と出生数の減少（自然減）が重なり、人口ピラミッドにおいて老年人口（65歳以上）の占める割合が非常に高いことが特徴です。対して、愛知県や大阪府などの大都市圏では、地方からの若年層の流入があるため、高知県ほど高齢化率は高くありません。
問7	<b>答え 1</b> 山陰	日本の気候区分において、中国山地よりも北側の地域は日本海側気候に属します。冬には日本海を渡ってくる湿った季節風が中国山地にぶつかるため、山陰地方では降水量が多くなり、雪が降ることも珍しくありません。対照的に、山を越えた南側の山陽地方は、季節風が遮られるため晴天の日が多く、温暖で乾燥した気候となります。